

社会福祉学科			社会福祉 専攻						
科目名: 相談援助実習				担当教員 氏名: 鷹西 恒、松尾 祐子、中村 尚紀					
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考			
4	2年次	前期	専門科目	実習	選択	社会福祉士国家試験基礎受験資格(必修)			
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:			実習機関の機能に沿って、各領域の社会福祉の役割の理解を深める						
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード				
社会福祉の実践現場で、相談援助活動に係る知識と技術の基本を学ぶことを目的とする。相談援助実習指導Ⅰ～Ⅲで行われる実習の事前・事後の学習と合わせて、社会福祉への理解を確かなものとしてほしい。					現場実習、実習計画書・記録・報告書等の書き方、報告会				
授業における学修の到達目標									
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		1. 2. 3. 5. 6. 7. 8. 9. 10				
B	専門的技術		ソーシャルワークの専門技術を実習現場で活かすことができる。						
E	自己管理能力		事前学習、実習中の実習ノートの作成と提出、報告書の作成提出を適切に行う。						
F	チームワーク・リーダーシップ		実習現場の職員との連携等を行うことができる。						
G	倫理観		ソーシャルワークの価値と倫理を元にした援助を実施できる。						
H	コミュニケーション力		実習現場において、利用者やその家族、職員等とのコミュニケーションを実践できる。						
成績評価の方法・基準: 実習配属先での評価や実習記録等から総合的に判断する。									
テスト:	%	レポート:	%	発表:	%	実技試験:	%	その他:	%
特記事項:									
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション (実習、フィールドワーク)									
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 7月上旬～8月上旬。180時間以上・25日以上 ※配属先の事情により時期が異なる場合がある。									
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 実習評価票(コピー)の返却とスーパービジョンを行う。									
授 業 計 画				準備学習(予習・復習等)					
				学習内容	学習に必要な時間(分)				
・配属先の施設・機関のプログラムにそって、180時間以上・25日以上の実習を行う。				分野別の指導内容によって異なる	【予習】60分 【復習】60分				
・この間担当教員による巡回指導が行われる。				実習場所の指示に従って学習を行う	【予習】60分 【復習】60分				
使用テキスト: 福祉小六法、中央法規、大阪ボランティア協会、ISBN978-4-8058-5611-6、成清美治、現代社会福祉用語の基礎知識 学文社、ISBN978-4-7620-2540-2、実習実施要綱、「社会福祉士シリーズ22 相談援助実習・相談援助実習指導」弘文堂、ISBN978-4-335-61189-6その他適宜資料を配布する。				その他参考文献など:					
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 実習は社会福祉の利用者の生活の場で行われる。このことを十分認識した上で臨んでほしい。実習は通勤または宿泊の形式で行い、配属先は学生の希望分野等を参考に教員が決定する(原則として)。									